

令和7年度

入善町立入善小学校

令和7年10月24日



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」



富山県小学校教育研究会県東部体育科研究推進校

子供が育つ学校行事

校長 内山 真之

夏休みのことです。先生たちが「応援をもう少し子供主体にしませんか?」「運動会のテーマから個人の目標がもてるようにしたい」と話していました。学校の教育活動を見直す「誠実な対話」が、実はよくされています。「コロナ禍以降の運動会」から、暑さ対策を優先しながらも、やはり「子供たちが育つ運動会」にしていきたいのです。



「全校児童の運動会の目当て」の掲示を復活しました。高学年の徒競走を逆転現象のある「借り人競争」にし、子供たちがあまり経験のない「綱引き」を取り入れました。「玉入れ」は、「チェッコリ玉入れ」となり、応援は、そのあり方が検討されました。今までよりも子供たちの応援らしくなりましたが、今後も向上的に変わっていくことでしょう。

4年生の宿泊学習。今年の4年生は集まりが早く、静かに話を聞いています。司会も挨拶も原稿を見ないで、しかも表情豊かに自信をもって話しています。自分で話す内容を考え、何度も練習しています。できるだけ準備をして、宿泊学習に臨んでいるのです。

こんな宿泊学習（学校行事）をしていたら、子供たちは育ちますよね。4年生の宿泊学習は、とても丁寧に「目的の共有」がなされ、話し合いの結果がホワイトボードに可視化され、意識化されていました。事後の「ふりかえり」でも「宿泊学習から学んだことは何か」、「生活でどう活かせるか」まで話し込んでいます。宿泊学習をすることが目的ではないのです。子供たちが育つための大切な学校行事（特別活動）なのです。



さて、6年生の宿泊学習。毎年、本校の6年生の成長を実感できる機会です。昨年は「雨の中のテント泊」でした。今年は熊の心配もあり、本館での宿泊でしたが、ここ数年で一番、天気恵まれました。冒険的な活動はありませんが、ゆったりと自然を五感で感じ、味わえる活動が計画されていました。

仲間との活動を純粋に楽しみ、笑い合う姿が微笑ましかったです。キャンプファイヤーは、夜霧が立ち込める幻想的な夜の森の中での神秘的な体験となり、6年生にとっては、特別な思い出となったことでしょう。



コロナ禍の学校行事は、「活動の意味の共有」や「子供たちが取り組む時間」を十分に用意せずに、とにかく実施することを優先してきた面もあります。コロナ禍は終わりました。子供たちがワクワクし、「子供たちが育つ学校行事」を子供たちとともに創り上げていきたいと思ひます。

9月30日～10月1日【1泊2日】4学年宿泊学習



黒部市ふれあい交流館「あこや〜の」で4年生は、初めての宿泊学習に参加しました。事前学習をしっかりとっていて、4年生自身の意識が高く、司会や挨拶も原稿を見ないで話しています。集合が早くて、活動する時間がたくさん取れたのです。4年生は、宿泊学習で出会ったすべての方に挨拶しています。とても感心しました。

10月1日 給食試食会・1学年親子活動



1年生の保護者の皆さんを対象とした「給食試食会」を実施しました。本校の伊藤栄養教諭が学校給食についての説明をし、ランチルームで試食していただきました。

5時間目には、PTA厚生委員会主催の1年生親子活動「親子で紙飛行機づくり」が行われました。これは、親子で紙飛行機を作って、紙飛行機をだれが遠くまで飛ばすかを大会として実施しました。シンプルな活動ですが、親子で楽しんでいただけたようです。

10月8日～9日【1泊2日】6学年宿泊学習



壁をみんなで越える「ウォール」、向こう島に全員がロープで飛び移る「ターザンロープ」といった立山青少年自然の家ならではの、自然の中で仲間と協力しなければ解決できないゲームにチャレンジしました。広大なフィールドでの「ポイントさがし」、火をおこしての野外炊飯といった活動にも積極的に楽しんで取り組みました。6年間の小学校生活の中でも、きっと心に残る宿泊学習になったことでしょう。

体育科研究推進校として、11月5日(水)に、研究集会を行います。今年は、2年生の体育と5年A組の保健を公開いたします。180名ほどの小学校教員が来校予定です。公開授業の単元が始まりました。

